

	中期経営目標 【3年間】	短期経営目標 【1年目】	目標達成のための手立て	評価項目<評価方法>	評価	中間評価
確かな学力	基礎・基本の定着及び課題発見・解決学習の充実<問題解決能力育成>	・「書く力」「伝え合う力」を高める指導及び家庭学習の定着のより一層の充実を図り、自分の考え等を分かりやすく書き、伝え合うことのできる生徒、また、自ら学ぶ力を身に付けた生徒を育てる。	・「めあて」と「まとめ」の整合性を図り、「振り返り」を充実させる。 ・書いたことを伝え合う場面（ペアやグループでの学習活動等）を充実させる。 ・各学年の家庭学習目標時間に応じて、宿題の出し方（量、期限等）を教科担任間で連携・調整する。また、学習委員会で「宿題一覧表」を作成・管理し、宿題や自主学習ノート等の点検活動を定期的に行う。その状況を担任も確認し、必要に応じて保護者連携を行う。	・「基礎・基本」定着状況調査（6月）の平均通過率60%以上の生徒80%以上、30%未満の生徒0 ※昨年度～今年度6月までの取組の検証として ・自分の考え等を、「ノートに分かりやすく書いている」「ペアやグループでの学習活動等で、分かりやすく伝えている」生徒70%以上<生徒アンケート>	2	・「基礎・基本」調査問題（6月実施）の結果によると、平均通過率60%以上の生徒の割合は、国語：82.9%、数学：73.0%、理科：38.8%、英語：63.8%であった。今後は数値で学力の向上が見とれるように、適宜効果的なやり方を考えながら、継続して取組みを進める必要がある。 ・「自分の考え等を、ノートなどにわかりやすく書いている」生徒は89%、「ペア・グループ学習活動等で、自分の考えをわかりやすく伝えている」生徒は82%であり、目標の70%は達成できた。 ・アンケート（教員）の結果から、学校目標達成の手立てについての中間評価は、どの項目に置いても4段階評価のうち、1・2が多く、達成率が低い状態である。個々に何が課題かがわかっているため、今後の取組みが生徒の学力やアンケート結果につながるようにしていかなければならない。
		・課題発見・解決学習（問題解決能力等の育成）の充実を図る。（「学びの変革」パイロット校事業指定）	・パイロット教員を中心とし、課題発見・解決学習の過程において、問題解決能力等の育成に有効な「すべ」を研究する。（特定の教科等及び特定の学年・学級、単元において研究する。特定の教科等<予定>：社会・数学・理科・英語・音楽・総合的な学習の時間）	・「特定の教科等の課題発見・解決学習の過程において単元を特定して『すべ』を開発できた」と肯定的な回答をする関係教師の割合が100%（年度末等 教員アンケート）	1	・特定の教科等の課題発見・解決学習の過程において7月中に単元を特定し、公開研究会に向けて関係者で指導案検討等を重ねていく予定である。 ・『すべ』においては、「比較」「関連付け」を軸とし、思考を深める授業を行っていく。 ・「授業の中で今まで学習したことと比較したり関連付けたりしながら考えている」生徒は、1年生62%、2年生69%、3年生85%であった。生徒の思考ツールとして、「比較」「関連付け」を定着させていきたい。
豊かな人間性	豊かな人間性の確立	・生徒指導上の諸課題の把握と対応を、迅速かつ組織的に進める。 ・生徒指導と生徒会活動との連鎖的な取組・指導を工夫し、規律正しく生活できる生徒を育てる。	・遅刻・欠席が連続する生徒を日常的に把握し、組織的な対応を迅速かつ段階的に行う。（生徒指導担当者会、学年会、企画委員会などでの交流・検討） ・学年・全校朝会を定例化する。（隔週で行い、課題意識の共有化を図り、解決への道すじを示唆する。 ・「時間・あいさつ・そうじ」のレベルアップを図る取組・指導・評価を行う。（生徒会活動と連動させながら、期間を決めて行う）	・「休まないこと・遅れないことを意識しながら生活している」「授業・掃除・学活等の開始時間を守っている」「身だしなみ（服装・頭髪）のルールを守っている」生徒90%以上 ・「本気で（時間いっぱい、ていねいに）掃除をしている」「誰にでも、自分からあいさつをしている」生徒70%以上<生徒アンケート>	4	・組織的な対応を迅速かつ段階的に指導できるように生徒指導担当者会や学年会、企画委員会などで情報交流や指導体制を検討することができた。 ・教職員の声かけや生徒会活動により、「授業・掃除・学活等の開始時間を守っている」生徒は96%、「身だしなみ（服装・頭髪）のルールを守っている」生徒は98%であり、目標の90%は達成できた。今後は、学年・全校朝会を定例化し、課題意識の共有化を図り、全校で取り組んでいく。 ・環境整備委員会の黙勤清掃活動や生徒会執行部のあいさつ運動などの取組をすすめることができた。「本気で（時間いっぱい、ていねいに）掃除をしている」生徒は89%、「誰にでも、自分からあいさつをしている」生徒は95%であり、目標の70%を大きく上回ることができた。今後も、生徒会活動の取組と連動させながら、指導・評価を行い、さらにレベルアップできるように取り組んでいく。
		・認め合い・支え合える学級集団づくりを進めるとともに、生徒主体の自治的活動をより充実させ、思いやりの心やリーダー性を発揮できる生徒を育てる。	・QUアンケートを年間2回行い、データを参考にしながら学級集団づくりを進める。（分析結果等を夏季校内研修や学年会で交流し、データを活用する） ・月別生徒会目標を具現化する。（活動や点検・評価活動等を毎月の各種委員会で協議し、計画的に行う） ・生徒会主体の全校朝会を定例化する。（月1回程度し、目標や課題の共有化を図る） ・リーダー指導・育成を進める。（学校・生徒会行事や執行部会・部長会・小中リーダー研修等を活用する）	・「自分たちのクラスは、互いの良さや足りないところを認め合い、支え合おうとしている」生徒70%以上 ・「毎月の生徒会目標を意識して生活している」生徒70%以上 ・「行事（体育大会・文化祭など）や生徒会活動（執行部・各種委員会など）、学級活動（係・班など）、部活動で、自分の役割を果たそうとしている」生徒80%以上	4	・6月にQUアンケート実施し、夏季行内研修において結果を分析した。「自分たちのクラスは、互いの良さや足りないところを認め合い、支え合おうとしている」生徒は、1年生84%、2年生77%、3年生89%であり、どの学年においても目標の70%を上回っている。しかし、「よくあてはまる」と回答した生徒は1年生32%、2年生22%、3年生40%であり、全学年で朝の学活や帰りの学活の内容を充実させたり、各教科においてグループワークやペア学習などを通して人と人との関わり増やしたりするなど工夫が必要である。 ・毎月各種委員会を開催し、活動や点検を計画し、実施することができた。「毎月の生徒会目標を意識して生活している」生徒は1年生71%、2年生70%、3年生74%であり目標の70%は達成しているが、さらに生徒に意識させるための取組を進めることが必要である。 ・生徒会主体の全校朝会は定例化できていない。2学期以降は、計画的に取り入れていきたい。 ・体育大会や部長会、小中リーダー研修など様々な活動を通して、リーダー指導・育成を進めることができた。今後も、生徒が主体的に取り組めるような役割や分担を設定し、行事や生徒会活動で身に付けたことを普段の生活の中につなげることができるよう指導していきたい。
健やかな体	生きていく基礎・基本となる体力の育成	・体育授業や部活動・委員会活動等を通して、「体力づくり」「生活リズムの保持・向上」に係る取組・指導を連鎖的・継続的に行い、全身持久力を中心にバランスのとれた体力を身に付けた生徒を育てる。	・体育授業の準備・補強運動に体力を高める運動（特に全身持久力）を計画的に取り入れる。 ・「体力づくり」「生活リズムの保持・向上」に係る取組（部活動強化週間、生活リズム向上キャンペーン、駅伝大会等）を毎学期1回企画・実施・評価する。 ・「昼休憩のボールや縄跳びの貸し出し」等を行い、運動が行いやしやすい環境づくりを進める。	・新体力テスト①5～6月、②11月～2月の「全身持久力」の項目において、各学年男女とも全国平均・県平均を上回る。 ・「体力を高めることを意識しながら生活している」「生活リズムをよりよくすることを意識しながら生活している」生徒70%以上	3	・新体力テスト①の「全身持久力」の項目においては、2、3年生男子、3年生女子が全国平均・県平均を上回ることができた。しかし、上記以外の各学年男女において向上が見られなかった。このことから、今後さらに全身持久力を高めるような取組をする必要がある。 ・体育授業の準備・補強運動に体力を高める運動（特に全身持久力）を計画的に取り入れることができています。 ・「体力づくり」「生活リズムの保持・向上」に係る取組（部活動強化週間、生活リズム向上キャンペーン、駅伝大会等）を1学期は実施することができなかった。2学期には「生活リズムの保持・向上」を行い、3学期には「体力づくりとして駅伝大会」を実施する予定である。 ・「体力を高めることを意識しながら生活している（体育の授業や部活動以外で、自主的に運動しています）」95%「生活リズムをよりよくすることを意識しながら生活している（毎朝、朝ご飯を食べています71%、寝る時間、起きる時間を決めています87%）」このことより、生徒に意識づけられていることがわかる。今後も継続的に指導を行っていく。 ・「昼休憩のボールや縄跳びの貸し出し」については、生徒の自主性に任せている。学校として環境づくりを今後どのように進めていくかについては検討中である。